

東洋史専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
東洋史概論	中国史概説Ⅰ	2	大野 晃嗣	3	前期 火曜日 2講時	
東洋史概論	中国史概説Ⅱ	2	大野 晃嗣	4	後期 火曜日 2講時	
東洋史基礎講読	『廿二史劄記』講読(1)	2	大野 晃嗣	3	前期 火曜日 5講時	
東洋史基礎講読	『廿二史劄記』講読(2)	2	大野 晃嗣	4	後期 火曜日 5講時	
東洋史各論	魏晉南朝貴族制の諸 問題	2	川合 安	5	前期 金曜日 4講時	
東洋史各論	清朝のモンゴル支配、 その歴史的 성격と意義	2	岡 洋樹	集中(5)	集中講義	
東洋史各論	秦国史の諸問題	2	渡邊 英幸	5	前期 金曜日 2講時	
東洋史各論	北朝隋唐貴族制の諸 問題	2	川合 安	6	後期 金曜日 4講時	
東洋史各論	古代中国王朝と周辺諸 国・諸民族	2	渡邊 英幸	6	後期 金曜日 2講時	
東洋史演習	明清史料研究Ⅰ	2	大野 晃嗣	5	前期 水曜日 5講時	
東洋史演習	春秋戦国秦漢史料研 究Ⅰ	2	渡邊 英幸	5	前期 月曜日 5講時	
東洋史演習	明清史料研究Ⅱ	2	大野 晃嗣	6	後期 水曜日 5講時	
東洋史演習	春秋戦国秦漢史料研 究Ⅰ	2	渡邊 英幸	6	後期 月曜日 5講時	

科目名：東洋史概論／ Oriental History (General Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 2 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LB32202, 科目ナンバリング：LHM-HIS203J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国史概説 I

2. Course Title (授業題目)：Introduction to Chinese History

3. 授業の目的と概要：中国明王朝（1368-1644）の成立から滅亡までの歴史を学びつつ、官僚制度、科挙制度といった中国史を理解する上で必要な項目について、漢文史料を使用しながら理解を深める。そしてそれらの制度が様々な形で現在にまで残っていることを知る。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course helps students learn the history of the Ming Dynasty (1368-1644) from the formation to the destruction, deepen understanding the bureaucracy system and civil examination system at the time. And, moreover, students consider that these systems remain in various forms to the present-day China.

5. 学習の到達目標：中国史を理解する上で必要な官僚制や政治制度についての基礎知識を得ながら、特に中国明王朝の歴史について理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course helps students learn basic knowledge about bureaucracy and political system which is necessary for understanding Chinese history so that students can acquire abundant knowledge the history of Ming dynasty and the system.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

講義をリアルタイムのオンライン形式で行う。

1. ガイダンス
2. 中国に関する基礎知識
3. 元明交替（1）
4. 元明交替（2）
5. 明王朝成立史（3）
6. 官僚制度—中央官制
7. 官僚制度—地方官制
8. 明代中期の歴史（1）
9. 明代中期の歴史（2）
10. 明代科挙制度（1）
11. 明代科挙制度（2）
12. 明末政治史（1）
13. 明末政治史（2）
14. 明清交替
15. まとめ

8. 成績評価方法：

出席点（30%）とレポート（70%）。

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に紹介する。

10. 授業時間外学習：予習が必要なプリントについては随時宿題形式で指示を行う。また、続き物の講義であるので、復習を行い知識を確認し、次の授業に臨むこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

板書内容が非常に多くなるので注意すること。

科目名：東洋史概論／ Oriental History (General Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 2 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LB42201, 科目ナンバリング：LHM-HIS203J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国史概説Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：Introduction to Chinese History

3. 授業の目的と概要：中国清王朝（1616-1912）の成立から滅亡までの歴史を学びつつ、官僚制度、科挙制度といった中国史を理解する上で必要な項目について、漢文史料を使用しながら理解を深める。そしてそれらの制度が様々な形で現在にまで残っていることを知る。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course helps students learn the history of the Qing Dynasty (1616-1912) from the formation to the destruction, deepen understanding the bureaucracy system and civil examination system at the time. And, moreover, students consider that these systems remain in various forms to the present-day China.

5. 学習の到達目標：中国史を理解する上で必要な官僚制や政治制度についての基礎知識を得ながら、特に中国清王朝の歴史について理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course helps students learn basic knowledge about bureaucracy and political system which is necessary for understanding Chinese history so that students can acquire abundant knowledge the history of Qing dynasty and the system.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

講義をリアルタイムのオンライン形式で行う。

1. ガイダンス
2. 中国に関する基礎知識
3. 清王朝成立史（1）
4. 清王朝成立史（2）
5. 康熙・雍正・乾隆時代史（1）
6. 康熙・雍正・乾隆時代史（2）
7. 康熙・雍正・乾隆時代史（3）
8. 清朝文書行政（1）
9. 清朝文書行政（2）
10. 官僚制度－中央官制
11. 官僚制度－地方官制
12. 清朝後期史（1）
13. 清朝後期史（2）
14. 清朝の滅亡
15. まとめ

8. 成績評価方法：

出席点（30％）とレポート（70％）。

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に紹介する。

10. 授業時間外学習：予習が必要なプリントについては随時宿題形式で指示を行う。また、続き物の講義であるので、復習を行い知識を確認し、次の授業に臨むこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

板書が非常に多くなるので注意すること。

科目名：東洋史基礎講読／ Oriental History (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LB32504, 科目ナンバリング：LHM-HIS209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『廿二史劄記』講読（1）

2. Course Title (授業題目)：ERSHIERSHIZHAJI (Reading) (1)

3. 授業の目的と概要：中国史研究（特に前近代）には、中国古典文（漢文）で書かれた史料（歴史資料）の読解が必須である。そのための基礎訓練の材料として、清趙翼『廿二史劄記』明史の記述をテキストとする。受講者は、このテキストを読解し、訓読と現代日本語訳を作成する作業を体験する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the basic skills needed to read the Chinese classics as historical materials by reading “Ershiershizhaji”.

5. 学習の到達目標：中国古典文（漢文）で書かれた史料を、辞書を使いこなして読解できるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will develop the basic skills to read the Chinese classics as historical materials.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業は対面で行う。まず最初の1～2回目に『廿二史劄記』を読むために必要な事項を説明する。そして、3回目以降は、演習形式で行い、テキストを少しずつ区切って読み進める。本年度は巻31を読み進める予定。

1、ガイダンス：授業の進め方について

2、『廿二史劄記』について/漢文の語法について

3、『廿二史劄記』明史講読（1）

4、『廿二史劄記』明史講読（2）

5、『廿二史劄記』明史講読（3）

6、『廿二史劄記』明史講読（4）

7、『廿二史劄記』明史講読（5）

8、『廿二史劄記』明史講読（6）

9、『廿二史劄記』明史講読（7）

10、『廿二史劄記』明史講読（8）

11、『廿二史劄記』明史講読（9）

12、『廿二史劄記』明史講読（10）

13、『廿二史劄記』明史講読（11）

14、『廿二史劄記』明史講読（12）

15、授業の総括

8. 成績評価方法：

2回目の授業以降、毎回の発表内容によって評価する。

9. 教科書および参考書：

配布した資料を用いて授業を進める。

10. 授業時間外学習：訓読・日本語訳の作成を毎回行って授業に臨むこと。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

なし。

科目名：東洋史基礎講読／ Oriental History (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LB42503, 科目ナンバリング：LHM-HIS209J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『廿二史劄記』講読 (2)
2. Course Title (授業題目)：ERSHIERSHIZHAJI (Reading) (2)
3. 授業の目的と概要：『廿二史劄記』の読解を継続し、中国古典文(漢文)で書かれた史料を読解するためには、漢和辞典のみに依存した予習では限界があることを体得する。2 回目の授業以降、受講者は、全員、書き下し文と現代日本語訳を作成し、あわせて、関連史料や官職、制度等の調査結果についてもまとめて、課題として提出する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The aim of this course is to help students acquire the basic skills needed to read the Chinese classics as historical materials by reading “Ershiershizhaji”.
5. 学習の到達目標：学部演習において最低限必要な、史料読解のための基礎学力を身につけ、手持ちの漢和辞典のみならず、東洋史研究室所蔵の大型辞書や関連の基本的史料などを自由自在に使いこなせるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will develop the basic skills to read the Chinese classics as historical materials.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
授業は対面で行う。まず最初の 1～2 回目に『廿二史劄記』を読むために必要な事項を説明する。そして、3 回目以降は、演習形式で行い、テキストを少しずつ区切って読み進める。前期に引き続き巻 31 を読み進める予定。

1、ガイダンス：授業の進め方について
2、明代の官職、制度等の調べ方について
3、『廿二史劄記』明史講読 (1)
4、『廿二史劄記』明史講読 (2)
5、『廿二史劄記』明史講読 (3)
6、『廿二史劄記』明史講読 (4)
7、『廿二史劄記』明史講読 (5)
8、『廿二史劄記』明史講読 (6)
9、『廿二史劄記』明史講読 (7)
10、『廿二史劄記』明史講読 (8)
11、『廿二史劄記』明史講読 (9)
12、『廿二史劄記』明史講読 (10)
13、『廿二史劄記』明史講読 (11)
14、『廿二史劄記』明史講読 (12)
15、授業の総括
8. 成績評価方法：
2 回目の授業以降、毎回課す課題によって評価する。
9. 教科書および参考書：
配布した資料を用いて授業を進める。
10. 授業時間外学習：訓読・日本語訳及び注の作成を毎回行って授業に臨むこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practicalbusiness
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし
なし。

科目名：東洋史各論／ Oriental History

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：川合 安

コード：LB55401, 科目ナンバリング：LHM-HIS304J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：魏晋南朝貴族制の諸問題

2. Course Title (授業題目) : Issues of the Aristocratic System in the Wei, Jin, and Southern Dynasties

3. 授業の目的と概要：中国の魏晋南朝時代（220～589）は、貴族が政治・社会を主導する体制—貴族制の時代として知られる。講義では、この時代の貴族制あるいは貴族について分析し、その具体相を浮かび上がらせることを試みる。この試みを通じて中国史における魏晋南朝時代の特質について理解を深めることを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course covers the aristocratic system in the Wei, Jin, and Southern Dynasties (220-589) to help students understand the characteristics of the Wei, Jin, and Southern Dynasties time in Chinese history.

5. 学習の到達目標：魏晋南朝貴族制の具体相とその特質を理解し、興味をもった論点について論じることができるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students discuss the characteristics of the aristocratic system in the Wei, Jin, and Southern Dynasties.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

講義形式で行い、第 2 回目以降、毎回課題を課す。

- 1、序論（貴族、貴族制とは）
- 2、後漢時代の貴族
- 3、九品官人法の制定
- 4、州大中正の設置と貴族制の形成
- 5、西晋の貴族制
- 6、東晋貴族制の成立
- 7、東晋中期の貴族制
- 8、東晋貴族制の動揺
- 9、宋・斉時代の貴族制
- 10、宋・斉時代の名門貴族
- 11、宋・斉時代の新興貴族
- 12、梁・武帝の貴族制改革—十八班制
- 13、梁・武帝の貴族制改革—試經制度
- 14、陳代の新傾向
- 15、総括

8. 成績評価方法：

第 2 回目以降毎回の課題によって評価する。

9. 教科書および参考書：

各講時に資料を配布する。参考書は、川勝義雄『魏晋南北朝』（講談社「講談社学術文庫」、2003 年）など。他は講義の中で紹介する。

10. 授業時間外学習：資料を精読して課題を作成する。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

なし。

科目名：東洋史各論／ Oriental History (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 その他

Semester：5 単位数：2

担当教員：岡 洋樹

コード：LB98810, 科目ナンバリング：LHM-HIS304J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：清朝のモンゴル支配、その歴史的 성격と意義
2. Course Title (授業題目)：Qing dynasty's rule over Mongolia: its historical nature and significance
3. 授業の目的と概要：清朝は、「外藩」と称する独自の統治範疇を設けて安定的なモンゴル遊牧民統治を実現した。その制度的な諸要件は、「王公制度」「盟旗制度」と呼ばれるが、多くの点で清代に先立つ北元末期モンゴルの分節的な社会構造に基盤を置く諸制度を継承したものであると同時に、これを皇帝の専制的統治の下に組み込み、垂直的な統治構造を創出した。本講義では、このような清のモンゴル統治制度と政治的統治手法を概観しつつ、その歴史的意義を考察する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The Qing dynasty established special governing system called “wai fan” (Outer Mongol) and achieved stable rule over Mongolian nomadic society. This system consisted of “wang gung system” and “league and banner system”. Then many of its elements inherited the ruling system which was based on the segmental structure of Mongolian nomadic society of Later Yuan era. On the other hand, the Qing incorporated entire society into vertical system of rule. This lecture offers the overviews about the entire ruling system and the political way of rule of the Qing and consider its historical significance.
5. 学習の到達目標：清朝によるモンゴル支配の概要を習得するとともに、その歴史的意義をモンゴル史の文脈に即して理解することを目標とする。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：The goal of this course is to provide an overview of the Qing Dynasty's rule over Mongolia and to understand its historical significance in the context of Mongolian history.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - 第一講「イントロダクション：清代モンゴル史の課題」
清代モンゴル史に関する研究史を整理しつつ、検討・再検討されるべき課題を論じる。
 - 第二講「外藩とは何か」
清朝によるモンゴル支配の統治カテゴリーとしての外藩の特徴と清の帝国構造の中でのその位置づけを論じる。
 - 第三講「北元から清へ1——内モンゴルの服属」
モンゴル諸集団が清朝に服属する過程を概観しつつ、マンジュのモンゴルに対する政策展開の特徴を考察する。第一回は内モンゴル諸集団の服属過程に焦点を当てる。
 - 第四講「北元から清へ2——ハルハの服属」
内モンゴル服属後も独立を保っていた清朝とハルハ・モンゴルとの政治的関係を概観し、清朝入関後、順治・康熙期のモンゴル政策の展開を考察する。
 - 第五講「清朝によるハルハ支配強化政策」
乾隆帝がハルハモンゴルに対して展開した一連の支配強化策を通じて、清のモンゴル統治の手法の特徴について考察する。
 - 第六講「清のモンゴル統治制度：王公制度と盟旗制度」
清朝のモンゴル統治制度として知られる王公制度と盟旗制度の歴史的性質を、北元期との対比において考察する。
 - 第七講「統治制度と社会構造：オトク・バク」
清代モンゴルに存在したオトク・バク社会構成体としての特徴を論じ、盟旗制度との関係について考察する。
 - 第八講「ナツァグドルジの清代モンゴル社会構造理解」
清代モンゴル史に多大な業績を残したモンゴルの研究者 Sh. ナツァグドルジの社会構造理解を再検討し、その成果と問題点をまとめる。
 - 第九講「清代モンゴル史の歴史記述」
清朝政府及び清代モンゴルの知識人たちが残したモンゴルに関する歴史記述を取り上げ、その内容の特徴と清朝支配との関係を論じる。
 - 第十講「外藩統治の「中央ユーラシア的」性格」
清朝のモンゴル統治における「中央ユーラシア的」特徴について論じ、清朝の帝国統治の歴史的性質を考察する。
 - 第十一講「いわゆる「封禁政策」について」
清朝のモンゴル支配における基本政策とされてきた「封禁政策」理解の問題点を批判的に整理しつつ、その実態と意義を考察する。
 - 第十二講「清代モンゴルにおける人の移動：出稼ぎ」
清朝統治下のモンゴルに現れた新たな現象として、活発な人の越境移動を挙げる事ができる。ここではとくにモンゴル人の出稼ぎに焦点を当てて移動の問題を考察する。
 - 第十三講「清代モンゴルにおける人の移動：所属旗を知らぬ人々」
清代において越境移動が活性化の中で、長期にわたり所属旗を離れて生活したために所属旗を知らない人々に焦点を当て、清代モンゴルの人口流動現象の意義について考察する。
 - 第十四講「外藩統治における人身把握」
人の移動が活性化の中で、清朝当局が移動者に対していかなる管理を行おうとしたのか、その際にどのような困難に直面したのかを論じ、清のモンゴル支配の限界の所在を考察する。

第十五講「講義のまとめ」

モンゴル史上における清朝支配の歴史的意義について考察をまとめる。

8. 成績評価方法：

成績評価はレポートにより行う。

9. 教科書および参考書：

参考文献

岡洋樹「乾隆帝の対ハルハ政策とハルハの対応」『東洋学報』第73巻第1・2号、1992年

岡洋樹「第三代ジェヴツンダムバ・ホトクトの転生と乾隆帝の対ハルハ政策」『東方学』第83輯、1992年

岡洋樹『清代モンゴル盟旗制度の研究』東京：東方書店、2007年

岡洋樹「北元から清へ—清朝の外藩統治形成の歴史的経緯」『東洋史研究』第81巻第1号、2022年

岡洋樹「大清国による歴史記述のモンゴル史的文脈」『北東アジア研究』別冊第3号、2017年

岡洋樹「清朝中期におけるモンゴル人の人口流動性に

10. 授業時間外学習：受講者は講義に先立って清朝のモンゴル統治の概要について、参考文献、あるいはインターネット上の情報によって予習しておくこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：東洋史各論／ Oriental History

曜日・講時：前期 金曜日 2講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：渡邊 英幸

コード：LB98811, 科目ナンバリング：LHM-HIS304J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：秦国史の諸問題

2. Course Title (授業題目) : Issues of the History of Qin State

3. 授業の目的と概要：秦始皇帝による中国統一は、東アジア史においてきわめて重要な位置を占める。だが統一時代は、実のところ秦の長期にわたる歴史のごく一部に過ぎず、またその実態も、歴史資料の不足により、これまで不明な点が多かった。ところが近年、新出土資料が増加したことにより、研究の進展が著しく、多くの事実が明らかにされつつある。この授業では、建国から統一、そして滅亡にいたる秦の歴史を通覧し、いくつかの重要な論点を取り上げ、研究上の到達点をあきらかにすることを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : The unification of China by the First Emperor (Qin Shi Huangdi) occupies a special place in the history of East Asia. Though the unification period of Qin Dynasty was actually only a small part of its long history, and much of its institutional and ideological situation had not been clear in the past due to a lack of historical date. However, in recent years, new historical documents and materials have been unearthed one after another, many studies have been published, which make it possible to clear many facts. In this course, we will provide the history of Qin state from its founding to its unification and destruction, and discuss some important issues, with the aim to clarify the status of current research.

5. 学習の到達目標：受講生は講義で示した基礎的な知識を身につけるとともに、論争点を把握し、自身の理解や解釈を提示できることを目標とする。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The goal for students of this course is to acquire the basic knowledge presented in the lectures, to grasp the issues and as well as to be able to present their own interpretations.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：(導入) 秦の歴史のスケール／春秋・戦国史と秦漢史／取り扱う史料

第2回：秦の起源論争と『史記』の起源伝承の批判

第3回：大堡子山遺跡の発見と秦の建国

第4回：秦の東方進出とその挫折

第5回：青銅器銘文が語る春秋秦の自己意識

第6回：秦孝公の登場と商君変法

第7回：商君変法の虚実

第8回：覇者から王者へ：恵文王から昭襄王へ

第9回：昭襄王の台頭と長平の戦い

第10回：ロウアイの乱前後

第11回：秦と「戎」

第12回：統一戦争と「皇帝」の出現

第13回：里耶秦簡と秦の郡県制

第14回：「更名扁書」が語る秦の統一

第15回：秦の滅亡

8. 成績評価方法：

コメントシートと平常点（10%）および最終レポート（90%）を総合して評価する。

9. 教科書および参考書：

教科書は特に指定しない。参考文献は適宜紹介する。

10. 授業時間外学習：配布した資料を精読し、参考文献も積極的に参照すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

なし。

科目名：東洋史各論／ Oriental History

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：川合 安

コード：LB65401, 科目ナンバリング：LHM-HIS304J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：北朝隋唐貴族制の諸問題

2. Course Title (授業題目) : Issues of the Aristocratic System in the Northern Dynasties, Sui and Tang

3. 授業の目的と概要：中国の北朝隋唐時代（439～907）における貴族制は、魏晋南朝の貴族制と異なり、皇帝権力主導の下に貴族の格付けが行われ、官僚制に組み込まれる傾向があり、隋唐時代には科挙制が成立するに至る。しかし、科挙制成立後も貴族は存続した。講義では、この時代の貴族制あるいは貴族について分析し、その具体相を浮かび上がらせるを試みる。この試みを通じて、中国史における北朝隋唐時代の特質について理解を深めることを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course covers the aristocratic system in the Northern Dynasties, Sui and Tang (439-907) to help students understand the characteristics of the Northern Dynasties, Sui and Tang time in Chinese history.

5. 学習の到達目標：六朝貴族制の具体相とその特質を理解し、興味をもった論点について論じることができるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students discuss the characteristics of the aristocratic system in the Northern Dynasties, Sui and Tang.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

講義形式で行い、第 2 回目以降、毎回課題を課す。

- 1、序論（北朝隋唐時代の流れ）
- 2、五胡十六国時代の胡漢の貴族
- 3、北魏前期の胡漢の貴族
- 4、北魏・孝文帝の貴族制導入—官制改革
- 5、北魏・孝文帝の貴族制導入—姓族分定
- 6、北魏の九品中正制度
- 7、北魏後期の貴族制への反発
- 8、東魏・北齊の九品中正制度
- 9、西魏・北周の新貴族制
- 10、隋の貴族
- 11、隋の科挙制
- 12、唐・太宗の『貞観氏族志』
- 13、唐の貴族と科挙
- 14、牛・李の党争
- 15、総括

8. 成績評価方法：

第 2 回目以降毎回の課題によって評価する。

9. 教科書および参考書：

各時間に資料を配布する。参考書は、講義時間に紹介する。

10. 授業時間外学習：資料を精読して課題を作成する。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

なし。

科目名：東洋史各論／ Oriental History

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

semester：6 単位数：2

担当教員：渡邊 英幸

コード：LB98812, 科目ナンバリング：LHM-HIS304J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：古代中国王朝と周辺諸国・諸民族
2. Course Title (授業題目)：The Relationships of Ancient Chinese Dynasties Formed with Neighboring Countries and Peoples

3. 授業の目的と概要：中国王朝は、東アジアの周辺諸国・諸民族との間で「冊封」や「朝貢」といった特殊な秩序を形成し、また国内外に住む多様な民族を統治してきた。この授業の前半では前近代の中国王朝の国際秩序に関する研究史を概観する。後半では秦漢時代に焦点を置き、中国王朝が周辺諸国・諸民族との間で形成した関係を歴史資料に即して具体的に考察する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In pre-modern East Asia, the Chinese Dynasty established distinctive orders such as the tributary system and the feudal system with neighboring countries, and ruled over ethnic groups in their territories. In the first half of this course, we will review studies on the order of Chinese dynasties in the pre-modern period. In the second half, we will focus on Qin-Han period, specifically examine the relationships that the Chinese dynasties formed with the neighboring countries and peoples.

5. 学習の到達目標：・前近代東アジアの国際秩序に関する基礎的な知識を身につけ、説明できるようになる。
・戦国から秦漢時代の中国王朝が周辺諸国・諸民族との間で形成した関係について、歴史資料に即した形で理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purposes of this course are as follows:

1) To acquire basic knowledge about the orders of the Chinese dynasties in pre-modern East Asia, and to be able to explain them in writing.
2) To understand about the relationships formed by the Chinese dynast

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：(序論) 中国王朝の対外関係と華夷思想、冊封と朝貢・互市

第2回：冊封と東アジア (1)：「冊封体制論」の提唱

第3回：冊封と東アジア (2)：「冊封体制論」の展開

第4回：冊封と東アジア (3)：「冊封体制論」の批判

第5回：朝貢・互市と天朝体制論

第6回：「冊封」と高句麗をめぐる歴史論争

第7回：秦漢時代の「内臣・外臣」構造論

第8回：「内臣・外臣」論への批判と秦代への遡及

第9回：志賀島の「金印」をめぐる

第10回：漢代国家構造論の現在

第11回：睡虎地秦簡からみた秦の秩序 (1)

第12回：睡虎地秦簡からみた秦の秩序 (2)

第13回：戦国・秦漢時代の他国民・異民族の同化と編入

第14回：漢初の諸侯王と「内／外」秩序

第15回：漢初の異民族統治：胡家草場漢簡から

8. 成績評価方法：

コメントシートと平常点 (10%) および最終レポート (90%) を総合して評価する。

9. 教科書および参考書：

教科書は特に指定しない。参考文献は適宜紹介する。

10. 授業時間外学習：配布した資料を精読し、参考文献も積極的に参照すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

なし。

科目名：東洋史演習／ Oriental History (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LB53503, 科目ナンバリング：LHM-HIS311J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明清史料研究 I

2. Course Title (授業題目) : Studies of Ming and Qing historical sources

3. 授業の目的と概要：中国明清時代の漢文史料読解を通じて、読むための手続き（史料の探し方や辞書・索引の使い方等）を習得する。その上で様々な課題探究に対する基礎知識を得る。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course is designed to help students learn how to search for historical materials and how to use dictionaries / index through reading the Chinese historical documents of Ming Qing Period. Then students get basic knowledge on exploring various subjects about Chinese history.

5. 学習の到達目標：内容読解に当たっては、同時代人の文集等から関係史料を収集して、理解を深める訓練を行う。受講者は、全員毎回書き下し文を準備し、口頭で発表を行う。日本語を母語としないものは訓読、日本語翻訳どちらで発表してもよい。なお、訓読の場合でも適宜日本語訳について問う。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : In reading the text, students collect related historical materials by other contemporaries' writings and train to deepen understanding. Students perform a presentation in every class.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンスー史料の背景と工具書の使い方ー
2. 明清史料研究 I - (1)
3. 明清史料研究 I - (2)
4. 明清史料研究 I - (3)
5. 明清史料研究 I - (4)
6. 明清史料研究 I - (5)
7. 明清史料研究 I - (6)
8. 明清史料研究 I - (7)
9. 明清史料研究 I - (8)
10. 明清史料研究 I - (9)
11. 明清史料研究 I - (10)
12. 明清史料研究 I - (11)
13. 明清史料研究 I - (12)
14. 明清史料研究 I - (13)
15. 明清史料研究 I - (14)

8. 成績評価方法：

発表内容（平常点）

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

10. 授業時間外学習：毎回、予習と復習をした上で出席することが必要。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

東洋史基礎講読を履修したか、履修中であることが望ましい。

科目名：東洋史演習／ Oriental History (Seminar)

曜日・講時：前期 月曜日 5 講時

Semester：5 単位数：2

担当教員：渡邊 英幸

コード：LB98823, 科目ナンバリング：LHM-HIS311J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：春秋戦国秦漢史料研究 I

2. Course Title (授業題目) : Studies historical sources in the Spring and Autumn Period, the Warring States Period, and Qin-Han Period

3. 授業の目的と概要：漢文史料の読解力（訓読・現代語訳）を向上させ、春秋・戦国・秦漢時代の基礎的な知識を獲得し、伝世文献の扱いを習得することを目的とする。前期は『資治通鑑』秦紀を資料とし、本文および注記を精読しながら、関連する史書や諸子百家文献、そして出土文字資料を比較検討し、編年や地理考証を行い、訳注を作成する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : The aim of this course is help students improve the skills to read the Chinese classics, to acquire the basic knowledge about history from the Spring and Autumn period to Qin-Han period, and become proficient in handling the traditional literatures of Chinese. In this course, we will read the history part of Qin in Zi zhi tong jian(資治通鑑, Comprehensive mirror for aid in government). Students will read the text and notes carefully, contrast to original historical and philosophical classics, such as Shi ji 史記 and Zhanguo ce 戦国策, and compare them with the bamboo and wooden slips, will conduct the investigation and make a translation and notes.

5. 学習の到達目標：中国古代・中世史の漢文史料を扱うための基本的な能力を習得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students acquire the basic skills to handle the Chinese classics in the Ancient and Middle age of East Asia.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス。『資治通鑑』と原典資料／工具書／訳注の方針

第2回：訳注の実例と解説

第3回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十年（1）

第4回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十年（2）

第5回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十一年

第6回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十二年（1）

第7回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十二年（2）

第8回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十三年・二十四年（1）

第9回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十三年・二十四年（2）

第10回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十五年（1）

第11回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十五年（2）

第12回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十五年（3）

第13回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十六年（1）

第14回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十六年（2）

第15回：『資治通鑑』秦紀二・始皇二十六年（3）

8. 成績評価方法：

報告および議論への参加状況（60％）と提出課題（40％）を総合して評価する。

9. 教科書および参考書：

資料を配布する。参考書はガイダンスで示すが、楊寛『戦国史（増訂版）』（上海人民出版社、1998年）および『戦国史料編年輯證』（上海人民出版社、2001年）を挙げておく。

10. 授業時間外学習：担当者は十分に予習のうえで報告資料を作成する。参加者全員で討論を行うため、担当者以外も予習のうえで出席すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

なし。

科目名：東洋史演習／ Oriental History (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LB63503, 科目ナンバリング：LHM-HIS311J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明清史料研究Ⅱ

2. Course Title (授業題目) : Studies of Ming and Qing historical sources

3. 授業の目的と概要：卒業論文を作成していく上で基本となる漢文史料読解力を向上させると同時に、扱える中国近世史料の知識を増やし、明清時代史の研究方法を理解する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : Students will improve the reading skills of historical materials in Ming Qing Period and understand the research method of Early Modern China which is necessary to write a graduation thesis.

5. 学習の到達目標：内容読解に当たっては同時代人の文集等から関係史料を収集して、理解を深める訓練を行う。受講者は、全員毎回書き下し文を準備し、口頭で発表を行う。日本語を母語としないものは訓読、日本語翻訳どちらで発表してもよい。なお、訓読の場合でも適宜日本語訳について問う。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : In reading the text, students collect related historical materials by other contemporaries' writings and train to deepen understanding. Students perform a presentation in every class.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンスー史料の背景と工具書の使い方ー
2. 明清史料研究Ⅱー(1)
3. 明清史料研究Ⅱー(2)
4. 明清史料研究Ⅱー(3)
5. 明清史料研究Ⅱー(4)
6. 明清史料研究Ⅱー(5)
7. 明清史料研究Ⅱー(6)
8. 明清史料研究Ⅱー(7)
9. 明清史料研究Ⅱー(8)
10. 明清史料研究Ⅱー(9)
11. 明清史料研究Ⅱー(10)
12. 明清史料研究Ⅱー(11)
13. 明清史料研究Ⅱー(12)
14. 明清史料研究Ⅱー(13)
15. 明清史料研究Ⅱー(14)

8. 成績評価方法：

発表内容 (平常点)

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

10. 授業時間外学習：毎回、予習と復習をした上で出席することが必要。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

東洋史基礎講読を履修したか、履修中であることが望ましい。

科目名：東洋史演習／ Oriental History (Seminar)

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：渡邊 英幸

コード：LB98824, 科目ナンバリング：LHM-HIS311J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：春秋戦国秦漢史料研究 I

2. Course Title (授業題目) : Studies historical sources in the Spring and Autumn Period, the Warring States Period, and Qin-Han Period

3. 授業の目的と概要：漢文史料の読解力を向上させ、春秋・戦国・秦漢時代の基礎的な知識を獲得し、伝世文献の扱いを習得することを目的とする。後期は『春秋左氏伝』を資料とし、本文および注記を精読しながら、ほかの関連する文献、出土資料を参照して、訳注を作成する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : The aim of this course is help students improve the skills to read the Chinese classics, to acquire the basic knowledge about history from the Spring and Autumn period to Qin-Han period, and become proficient in handling the traditional literatures of Chinese. In this course, we will read Chunqiu 春秋 (Spring and Autumn annals) and Zuo zhuan 左氏伝 (Zuo's tradition). Students will read the text and notes carefully, compare them with other related literatures and excavated materials, and prepare a translation and notes.

5. 学習の到達目標：中国古代・中世史の漢文史料を扱うための基本的な能力を習得する。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students acquire the basic skills to handle the Chinese classics in the Ancient and Middle age of East Asia.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス。春秋と三伝／『左伝』をめぐる問題と論争／新出土史料

第2回：『左伝』研究小史

第3回：『左伝』昭公二十二年（1）経文、齊・莒の紛争と盟

第4回：『左伝』昭公二十二年（2）宋華亥の出奔

第5回：『左伝』昭公二十二年（3）景王の死と王子朝の乱—1

第6回：『左伝』昭公二十二年（4）景王の死と王子朝の乱—2

第7回：『左伝』昭公二十二年（5）景王の死と王子朝の乱—3

第8回：『左伝』昭公二十二年（6）晋荀吳の東陽経略

第9回：『左伝』昭公二十二年（7）景王の葬儀と大乱—1

第10回：『左伝』昭公二十二年（8）景王の葬儀と大乱—2

第11回：『左伝』昭公二十二年（9）景王の葬儀と大乱—3

第12回：『左伝』昭公二十二年（10）晋の介入—1

第13回：『左伝』昭公二十二年（11）晋の介入—2

第14回：『左伝』昭公二十三年（1）経文、晋の介入—3

第15回：講義のまとめ

8. 成績評価方法：

報告および議論への参加状況（60%）と提出課題（40%）を総合して評価する。

9. 教科書および参考書：

資料を配布する。参考書・工具書はガイダンスで紹介する。

10. 授業時間外学習：担当者は十分に予習のうでで報告資料を作成する。参加者全員で討論を行うため、担当者以外も予習のうでで出席すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

なし。